

新庁舎建設特別委員会の概要（第5回）

- 1 日 時 平成29年3月24日（金）午後1時00分～2時15分
- 2 場 所 第1議会委員会室
- 3 出 席 全委員
- 4 内 容
 - 1 委員席の指定及び一部変更について
 - 2 新庁舎整備基本構想について
 - 3 その他

配布資料

- ① 第2回新庁舎整備基本構想策定委員会資料（2050年の美濃加茂市のまちの姿を考える～現庁舎の課題とこれからの方向性～）
- ② 新庁舎整備基本構想策定委員会「かわらばん」vol.1
- ③ 市議会アンケートとりまとめフロー図

上記の配布資料について、経営企画部施設経営課から説明を受け、質疑応答がなされた。

①は、3月29日に開催予定である、新庁舎整備基本構想策定委員会にて使用する資料で、本委員会へも内容の説明がなされた。

現庁舎の課題として、①老朽化・耐震脆弱性、②狭隘化、③防災拠点としての機能不足、④親しみやすい空間の不足、⑤まちとの関係性が挙げられ、これからの方向性として、A. 庁舎機能の改善、B. 社会的要請、C. まちづくりとの連携がコンセプトとして挙げられ、他自治体の先例を参考とし、今後の庁舎整備の選択肢が複数挙げられた。今後の予定として、同策定委員会にてA～Cを念頭に議論がなされていく旨の説明があった。

②は、2月7日に開催された、第1回新庁舎整備基本構想策定委員会の内容をまとめたもので、今後も引き続き発行されていく旨の説明があった。

③は、今年度、市議会が議会だよりにて行った「市議会に関するアンケート」の設問中、新庁舎建設に関しての意見について、意見を分類し、図化したもので、アンケートで得られた意見と、新庁舎整備基本構想策定委員会が出された意見が概ね同一の内容である旨の説明があった。

委員からは、先に会派で行った視察に関して、新庁舎整備に関する視察を行った会派や関連する内容の視察を行った会派から、その内容について、説明・報告がなされ、議会全体での情報共有を図った。

また、全委員が、現時点における新庁舎整備に関する意見を述べた。（主な意見は下記のとおり）

- ・庁舎の安全性を重視してほしい。
- ・新庁舎だけでなく、公共施設全体の整備として検討すべき。庁舎はまちづくりの基本と捉えてほしい。
- ・ICT活用などで将来的には、大規模な施設は要らなくなると考える。
- ・施設の複合化民間活用などで効率化を。
- ・財源、将来負担比率0が維持できるようにしてほしい。
- ・まちづくり協議会も活発化しているので、各地域の機能を強化してほしい。
- ・計画のたたき台を作り、市民の声をよく聞いて進めてほしい。あわせて計画の進捗を市民に周知してほしい。また、ワークショップなどで、協議、理解を図ってもらいたい。
- ・庁舎機能の分散化も検討してほしい。
- ・レストスペース、バリアフリー、エレベーターなど現庁舎の不便な点を解消できるように計画してほしい。
- ・犬山市や岐阜県庁など、他の例を参考にしてほしい。
- ・多くの意見、方法があるが、市で取捨選択し、市民を先導して行ってほしい。大義名分を持って取り組んでほしい。
- ・策定委員会も意見を整理し、大義を持って臨まれたい。
- ・建設位置決定を先にしたほうがよいのではと考える。
- ・新規土地を取得するには費用が掛かることも重大。
- ・本市では、民間連携難しいのでは。また、リノベーションできそうな建物は本市にないと思う。
- ・連絡所の充実、ICTの活用でコンパクトに。
- ・今後の維持管理を考えて、荘厳な建物は要らない。
- ・費用をかけすぎる必要はないが、用事がワンフロアで済むような施設が理想。
- ・市のシンボルとなる施設になってほしい。